

- ・ **2020年度「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」第1回公募**の様式をNEDO Webサイトからダウンロードして使用してください。

応募タイプ		様式
基本スキーム	<タイプA、B、C> インキュベーション研究開発 フェーズから実施	①
	<タイプD、E、F> 実用化開発フェーズ または 実証開発フェーズから実施	②
テーマ設定型事業者連携スキーム		③

- ① 様式右上に「2020年度（第1回公募）版・イ」と記されているものを使用。
 - ② 様式右上に「2020年度（第1回公募）版・実」と記されているものを使用。
 - ③ 様式右上に「2020年度（第1回公募）版・テ」と記されているものを使用。
- ・ 様式1から様式10まで作成してください。

※基本スキームの様式3-2は共通です。①、②ともに同じ様式を使用ください。

様式の説明 (1 / 2)

様式	様式名称	頁数	形式
	主な内容		
様式1	表紙	提案者毎に 1頁	Word
	技術開発テーマ名、法人名、連絡先等を記載。 社印を押印。		
様式2, 様式3-1	提案書要約版	様式毎に 1頁	Excel
	様式2：法人名、代表者名、売上等の提案者に関する情報を記載。 様式3-1：様式4の記述内容を要約して記載。		
様式3-2	提案書要約版	2頁	Power Point
	様式4の内容を要約し、図表等を用いて記載。		
様式4	提案書本文	20頁以内	Word
	事業化シナリオ、技術開発項目、省エネルギー効果量等を詳細に記載。		
様式5	主任研究者候補 研究経歴書	研究者毎に 1頁	Word
	助成事業を遂行する際の責任者に関する研究経歴を記載。		
様式6	主要研究員候補 研究経歴書	研究員毎に 1頁	Word
	各技術開発項目の責任者に関する研究経歴を記載。 (学術機関の研究者については、研究体制に入る研究者全員分 を作成すること。)		

様式の説明 (2 / 2)

様式	様式名称	頁数	形式
	主な内容		
様式7	応募書類等受理票	提案者毎に 1頁	Word
	応募書類等の受理の確認に使用。 割印を押して後日郵送いたします。		
様式8	NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票	実施体制内 のすべての 法人で1式	Word
	過去15年以内に実施したNEDO研究開発プロジェクトについて 最大5件を記載。		
様式9-1 様式9-2	利害関係確認情報	各1頁	Word
	様式9-1： 提案者が想定する利害関係者を記載。 NEDOが利害関係者の確認のために使用します。 様式9-2： 提案者、研究者、技術開発テーマ名、テーマ概要を記載。 審査員に送付し、利害関係の有無を確認します。		
様式10	事業成果の広報活動に対する同意	1頁	Word
	成果の公表・発表等を実施する際は、事前にNEDOにご報告 いただく旨、同意いただきます。		

<作成上の注意事項>

- ・ Wordの様式は **A 4 判縦長**（横書き）、**日本語で作成**してください。
手書きの提案書は不可です。
- ・ フォントは“**MS Pゴシック, 10.5ポイント**”（実際のサイズ）を基本としてください。
- ・ **モノクロ片面印刷**にしてください。（両面印刷やカラー印刷は不可。）
- ・ 余白は**変更しない**でください。
- ・ 青字部分（注意書き等）は、**黒字へ書き替え、もしくは削除**してください。
- ・ 「技術開発フェーズ」、「技術開発テーマ名」、「技術開発費」等を記載する箇所は複数あります。それぞれが**一致しているか確認**してください。

<提出時の注意事項>

- ・ 様式7の「提案者チェック」欄で必要書類がそろっていることを確認し、**左綴じクリップ止め**にしてください。
- ・ 様式2、3-1、3-2、4は**印刷したものと電子データの両方**を提出してください。

<e-Radについて>

- ・ 応募には「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)」への登録および基本情報の申請が必要です。所属研究機関の登録手続きには、**システム上2週間以上**かかる場合がありますので、時間に十分余裕をもって行うようにしてください。

様式等説明

基本スキーム

(実用化開発・実証開発フェーズの例)

「様式1」 提案書表紙

赤字箇所は提出時に削除もしくは書き換えてください。

2020年度(第1回公募)版・実...

「様式1」※書式変更不可。連名提案の場合は、提案者毎に「様式1」を作成ください。

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」に関する提案書

技術開発フェーズ: ○「○○○○」

◆技術開発フェーズ... 次のいずれかを、そのまま記載ください。
D「実用化開発」+「実証開発」
E「実用化開発」
F「実証開発」
◆技術開発テーマ名... 「○○○○○○の開発」と記載。
技術開発の内容がわかるよう具体的かつ簡潔なテーマ名としてください。
e-Rad に登録する技術開発テーマ名と同じにしてください。

技術開発テーマ名: ○○○○○○の開発

(西暦で記入)年○○月○○日

法人名 ○○○○株式会社

印

日付は西暦で統一

代表者名 役職名(企業の場合は代表取締役社長) ○ ○ ○ ○ 印(又は印)

注)提案者の所属する法人の代表者名又は権限を委譲された代表者名を記載してください。

所在地 ○○県○○市○○町○○丁目○番地○号 (郵便番号○○○-○○○)

※担当者の連絡先を下記に記載してください。↓

(返送用封筒にも同様に、所在地、連絡先を記載してください。)

連絡先 所属 ○○○部 △△△課

役職名 ○○○○課長

氏名 ○○ ○○

e-mail *****

NEDO からの問い合わせは、ここに記載された連絡先へさせていただきます。確実に連絡がとれる連絡先を記載ください。

(連絡先所在地)

○○県○○市○○町○○丁目○○番地○○号 (郵便番号○○○-○○○)

TEL △△△△-△△-△△△△(代表) 内線 △△△△

FAX △△△△-△△-△△△△

e-Rad における所属研究機関コード(10桁) | ○○○○○○○○○○

e-Rad に登録の上、必ず記載ください。

(提案者毎に1ページで記載してください。)

ヘッダーの様式タイプを確認してください。

連名提案の場合、提案者毎に「様式1」を作成してください。

技術開発テーマ名は技術開発の内容がわかるよう具体的かつ簡潔に記載してください。
(e-Radへも同じ名前登録してください)

代表者、連絡先等に変更があった場合は速やかに事務局に連絡してください。

所属研究機関コードのe-Rad ID (10桁) を必ず記載してください。

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム(基本スキーム)」に関する提案書要約版

「様式2」 提案書要約版

技術開発フェーズ	〇〇〇〇 (「様式1」表紙の技術開発フェーズと同一とし、次のいずれかをプルダウンリストより選択。 D「実用化開発」+「実証開発」、E「実用化開発」、F「実証開発」)				
技術開発テーマ名	〇〇〇〇〇〇の開発(「様式1」表紙、e-Fundに登録する技術開発テーマ名と同一とする。)				
技術開発責任者	姓 名 〇〇 一郎 〒〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇(換)				
提 案 者	法人名	〇〇〇〇〇〇〇〇(換)			
	代表者役職名	代表取締役社長			
	代表者氏名	〇〇 太郎			
	連絡先所属	〇〇〇〇△△課			
	連絡先役職	課長			
	連絡先氏名	〇〇 花子			
	TEL (半角入力)	03-0000-0000			
	FAX (半角入力)	03-0000-0000			
	e-mail (半角入力)	03-0000@03-0000			
	基本金又は出資金	〇〇〇〇	百万円		
	従業員数	〇	人		
	売上高	2016 年度	〇〇〇〇	百万円	
		2017 年度	〇〇〇〇	百万円	
		2018 年度	〇〇〇〇	百万円	
		2019 年度	〇〇〇〇	百万円	
総務損益	2016 年度	〇〇〇〇	百万円		
	2017 年度	〇〇〇〇	百万円		
	2018 年度	〇〇〇〇	百万円		
主任研究者	所属	〇〇センター 〇〇部			
	氏名	〇〇 〇〇			
	役職	部長			
提 案 者	法人名	〇〇〇〇△△			
	代表者役職名				
	代表者氏名				
	連絡先所属				
	連絡先役職				
	連絡先氏名				
	TEL (半角入力)				
	FAX (半角入力)				
	e-mail (半角入力)				
	基本金又は出資金	〇〇〇〇	百万円		
	従業員数	〇	人		
	売上高	2016 年度	〇〇〇〇	百万円	
		2017 年度	〇〇〇〇	百万円	
		2018 年度	〇〇〇〇	百万円	
		2019 年度	〇〇〇〇	百万円	
総務損益	2016 年度	〇〇〇〇	百万円		
	2017 年度	〇〇〇〇	百万円		
	2018 年度	〇〇〇〇	百万円		
主任研究者	所属				
	氏名				
	役職				
委 託	法人名	〇〇〇〇△△			
	主任研究者	所属 〇〇〇△△課 氏名 〇〇 〇〇 役職 チームリーダー			
	法人名				
委 託	主任研究者	所属 氏名 役職			
	法人名				
	主任研究者	所属 〇〇〇〇大学 氏名 〇〇 〇〇 役職 教授			
共同研究	主任研究者	所属 〇〇〇〇△△研究部 氏名 〇〇 〇〇 役職 教授			
	法人名				
	主任研究者	所属 氏名 役職			
共同研究	主任研究者	所属 氏名 役職			
	法人名				
	主任研究者	所属 氏名 役職			
技術開発期間	全期間	〇	年		
	インキュベーション研究開発(2年以内)		年		
	実用化開発(3年以内)		年		
	実証開発(3年以内)		年		
技術開発費	インキュベーション研究開発	〇〇〇〇	年度	〇	百万円
		〇〇〇〇	年度	〇	百万円
		〇〇〇〇	年度	〇	百万円
		〇〇〇〇	年度	〇	百万円
	実用化開発	〇〇〇〇	年度	〇	百万円
		〇〇〇〇	年度	〇	百万円
		〇〇〇〇	年度	〇	百万円
	実証開発	〇〇〇〇	年度	〇	百万円
		〇〇〇〇	年度	〇	百万円
		〇〇〇〇	年度	〇	百万円

印刷物と電子データの両方を提出してください。

1 ページ以内で作成してください。
印刷後、文字が切れていないか確認してください。

＜技術開発責任者＞
提案者の主任研究者のうち、技術開発を遂行する際の全体責任者（技術開発責任者）を1名記載してください。
委託先、共同研究先の主任研究者を技術開発責任者とすることはできません。

提案者、委託先、共同研究先が複数ある場合はそれぞれ行を追加して記載してください。
単独提案の場合等、不要な行は削除してください。

法人毎に主任研究者（本提案の技術開発を遂行する際の責任者）を1名記載してください。

技術開発費は、様式4(提案書本文)の4-1から転記してください。

(注意事項) ※着色印は行を削除しないでください。
1 ページ以内で作成して下さい。(印刷後、文字が切れていないこと及び2 ページにまたがっていないことを確認して下さい。)

「様式3-1」 提案書要約版

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム(基本スキーム)」に関する提案書要約版

技術開発フェーズ	「様式1」記載の技術開発フェーズと同一とし、次のいずれかをプルダウンより選択
技術開発テーマ名	〇〇〇〇〇〇の開発 (「様式1」記載、e-Fieldに登録する技術開発テーマ名と同一とする)
法人名	〇〇〇〇〇〇〇〇(株) (技術開発責任者の法人名を記載)
事業化の背景 (300文字以内)	様式4の「1-1. 事業化の背景」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 ・今回提案の技術開発成果の事業化に際し、狙った市場とその市場の状況(市場規模や成長性、既存市場との競合性等)、課題 ・狙った市場での課題を解決もしくは軽減する可能性のある国内外の既存技術の内容と今回の提案技術との差異 該当する場合、プルダウンメニューより選択
「重要技術」との関連性 (100文字以内)	重要技術 <input type="checkbox"/> - ・発行の「省エネルギー技術戦略」に記載されている「重要技術(公募要領添付資料1)」に該当する場合は、その関連性 ・該当しない場合は「該当なし」と記述
事業化シナリオ (300文字以内)	様式4の「1-2. 事業化シナリオ」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 ・経済性やコスト削減、普及に至るまでの環境整備(標準化や規制緩和、知財戦略、滞在顧客とのコミュニケーション)、開発成果の社内事業 戦略における位置づけ ・今回提案の技術開発成果による波及効果、事業化による新市場創出効果
経済的波及効果等 (100文字以内)	様式4の「1-3. 経済的波及効果等」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 ・「1-2. 事業化シナリオ」に記述した以外に、今回提案の技術開発成果による波及効果、新市場創出効果 ・該当しない場合は「該当なし」と記述
今回提案の技術内容と課題 (300文字以内)	様式4の「1-4. 今回提案の技術内容と課題」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 ・開発課題(箇条書き)
今回提案技術の独自性、優位性、革新性 (300文字以内)	様式4の「1-5. 今回提案技術の独自性、優位性、革新性」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 ・提案時点における、競合技術に対する今回提案技術の独自性・優位性・革新性を、定量的に比較 ・具体的には今回提案技術と、国内外における従来の方式・方法または競合技術を、技術分野に応じた適切な尺度(省エネルギー性、コスト、持続性、処理量、連続稼働時間、重量等)を用いて比較 ・可能であれば、今回提案の技術開発目標年における、他の競合技術に対する独自性・優位性・革新性を定量的に提示(革新性は様式4の「1-5.」(注釈)を参照してください。)
具体的な技術開発項目・内容・目標 (300文字以内)	様式4の「1-6. 具体的な技術開発項目・内容・目標」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 ・当初開発フェーズでの具体的な技術開発項目・内容・目標 (注)タイプB(実用化開発)(実証開発)は、実用化開発フェーズについて記述 ・技術開発の具体的な手法、進め方 ・技術開発項目・内容・目標の達成度合を確保するための具体的な方法、判断基準 販売開始から3年後の年数とする 但し、20XX年度が2030年度を超える場合には、未記入とする
省エネルギー効果量 (原由換算値)	20XX年度 万kWh 2030年度 万kWh
電力需給緩和への効果 (100文字以内)	様式4の「1-8. 電力需給緩和への効果」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 ・電力需給のピークカット、ピークシフトへの効果 ・該当しない場合は「該当なし」と記述
社会的貢献度 (100文字以内)	様式4の「1-9. 社会的貢献度」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 ・地域社会の発展または社会の構造改革や地球の活性化等への貢献 ・該当しない場合は「該当なし」と記述
当該技術の技術開発実績 (200文字以内)	様式4の「1-7. 当該技術の技術開発実績」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 ・提案者の実施能力及び技術的な優位性と実績

印刷したものと電子データ両方を提出してください。

1 ページ以内で作成してください。
印刷後、文字が切れていないか確認してください。

様式4 (提案書本文) の記載内容を転記または要約し、
簡潔に分かりやすく記載してください。

- ・重要技術 (※) をプルダウンにて選択してください。
- ・該当しない場合は「-」を選択してください。
- ※公募要領<添付資料1>参照

<省エネルギー効果量>

- ・“20××年”は提案技術が製品化された後、販売開始から3年後時点にあたる年に変更してください。但し、20XX年度が2030年度を超える場合には、未記入としてください。
- ・様式4の「1-7. 省エネルギー効果」から転記してください (国内分のみ)。

【注意事項】
 ・上記の記載例に倣い、1ページ以内で作成してください。(印刷後、文字が切れていないことを確認してください。)

「様式3-2」提案書要約版

(様式3-2)提案書要約版



テーマ名:○○○○○○○○○○の開発
 提案者:○○○○○株式会社
 共同研究・委託先:○○○○大学、国立研究開発法人×××××、一般社団法人△△△△

簡潔にご記入ください。
 文字の大きさはそれぞれ9ポイントで作成ください。
 青字部分は作成時編集・削除してください。

(NEDO(使用権)
 提案番号:

応募タイプ:
 インキュベーション〇年+実用化〇年+実証〇年

◆事業化の背景
 様式4の[1-1. 事業化の背景]および様式3-1と整合性を取って簡潔に記載ください。

◆事業化シナリオ
 様式4の[1-2. 事業化シナリオ]および様式3-1と整合性を取って簡潔に記載ください。

◆提案技術の内容
 簡潔に記載ください。
 様式4の[1-4. 今回提案の技術内容と課題]、[1-5. 今回提案技術の独自性、優位性、革新性]および様式3-1と整合性を取って記載ください。

◆技術開発目標
 様式4の[1-6. 具体的な技術開発項目・内容・目標]および様式3-1と整合性を取って簡潔に記載ください。

◆重要技術
 (例)革新的な化学品製造プロセス

◆経済的波及効果等
 様式4の[1-3. 経済的波及効果]

◆技術概要図
 テーマの課題・概要がわかる図

モノクロ印刷したものと電子データ両方を提出してください。

2ページで作成してください。

印刷後、文字が切れていないか確認してください。

様式4 (提案書本文) の記載内容を転記、または要約し、簡潔に分かりやすく記載してください。

(様式3-2)提案書要約版

◆実施体制
 様式4[3-1. 実施体制図]を転記

◆省エネルギー効果量・計算根拠(A:単位当たりの省エネ量、B:市場規模の見通し) 算出根拠がわかるように、できるだけ具体的に表現ください

20XX年		2030年	
指標A	指標B	指標A	指標B
算出の基になった数値を記載	算出の基になった数値を記載	算出の基になった数値を記載	算出の基になった数値を記載
[効果量]〇万kL		[効果量]〇万kL [費用対効果目標量]〇万kL	

「様式4」 提案書本文

「様式4」※書式変更不可、**20頁以内**（21頁以降は審査の対象としません）。

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」に関する提案書本文。

技術開発フェーズ:○「○○○○」。

技術開発テーマ名:○○○○○○の開発。

(記載事項)。

- 技術開発フェーズは、次のいずれかを、そのまま記載してください。
 - D「実用化開発」+「実証開発」。
 - E「実用化開発」。
 - F「実証開発」。
- 技術開発テーマ名は、「○○○○○○の開発」と記載してください。

技術開発の内容がわかるよう具体的かつ簡潔なテーマとし、「様式1」、e-Readに登録するテーマ名と同一にしてください。

(←行改行)。

[1] 事業化シナリオ及び技術開発の内容。

(←行改行)。

1-1. 事業化の背景。

(記載事項)。

- 狙う市場とその市場の状況(市場規模や成長性、既存市場との親和性等)、課題。
- 国内外の既存技術の内容とその課題。
- 今回提案技術の独自性、優位性、革新性。

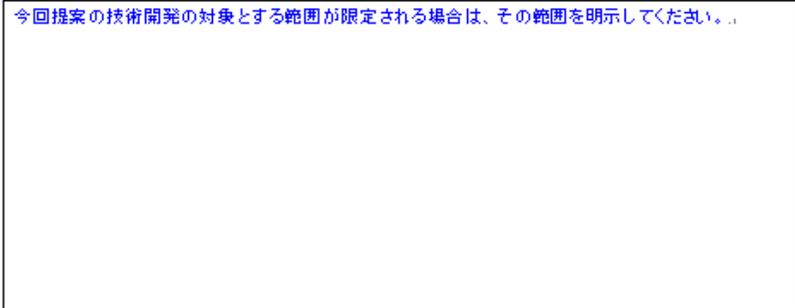
(注) ポイントのみ簡潔に記載し、詳細は[1-4. 今回提案の技術内容と課題]、[1-5. 今回提案技術の独自性、優位性、革新性]へ記載してください。
- 「重要技術」との関連性。

(←行改行)。

1-2. 事業化シナリオ。

[今回提案の技術開発成果の製品イメージ図]。

今回提案の技術開発の対象とする範囲が限定される場合は、その範囲を明示してください。



(記載事項)。

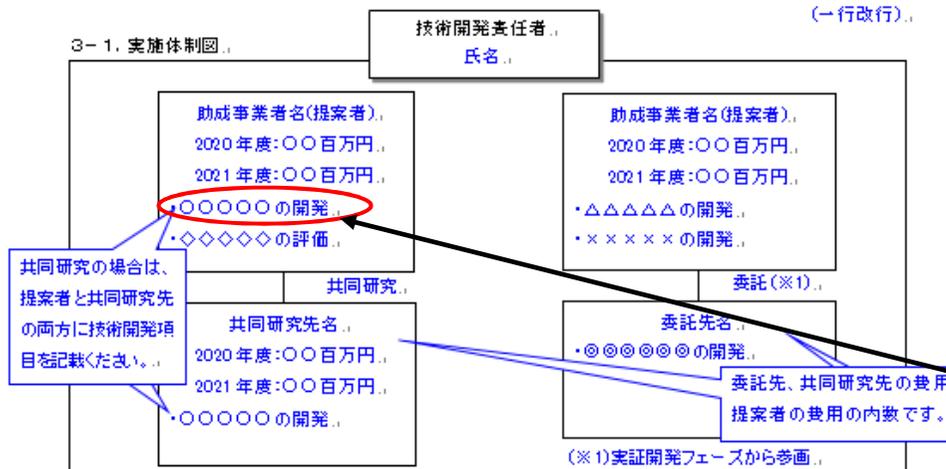
- 今回提案の技術開発成果の製品の説明。
- 事業化する時期や方法、ユーザー評価等の計画及びそれらを実施する体制。

「様式4」の1ページ目を「1」とし、ページ下端中央に、記載ください。

- モノクロ印刷したものと電子データの両方を提出してください。
- 審査基準を参照し、わかりやすく記載してください。
- 必要に応じて図、表を挿入し、わかりやすく記載してください。
- 図および表を含めて**20ページ以内**で作成してください。21ページ以降は**審査対象外**です。
- 各項目の注意事項に従い作成ください。** 注意事項に記載のポイントが不明な場合は、事務局にお問い合わせください。
- 3年事業の場合は中間目標（2年後）と最終目標（3年後）を記載してください。
(フェーズアップを希望する場合は、はじめのフェーズの分のみ記載してください)

「様式4」 提案書本文（特に注意すべき事項）①

〔3〕 事業実施スキーム



- 企業の場合(含む、委託先、共同研究先)は、下記の表に必要な事項を記載してください。大企業、中堅、中小、ベンチャー企業の種別は公募要領内の定義を参照してください。会計監査人の設置については、会社法337条により大会社や指名委員会等設置会社などに設置が義務付けられている株式会社の機関の一つです。監査役と異なり、独立的な立場から財務諸表等の監査を行います。なお、大会社、委員会設置会社以外の株式会社も会計監査人を設置することができます。設置されている場合は公認会計士又は監査法人名を記載してください。

【体制一覧】(含む、委託先、共同研究先)

企業名	資本金	従業員数	大企業、(*)みなし大企業・中堅・中小・ベンチャー企業の別	会計監査人名
〇〇〇株式会社				
△△△株式会社				

従業員数、資本金は応募時点を、基準としてください。

会計監査人の設置がない場合は"なし"と記入してください。

〔大企業出資比率一覧〕(みなし大企業に該当する場合。)

大企業 社名	出資比率(%)

- *:みなし大企業とは、中小企業の資本金基準、従業員基準を満たす場合でも、大企業の出資比率が以下の比率を越える企業を指します。
- ・発行済株式の総数又は出資の総額の2分の1以上が同一の大企業の所有に属している企業。
- ・発行済株式の総数又は出資の総額の3分の2以上が、複数の大企業の所有に属している企業。

〔3〕 事業実施スキーム (3-1 実施体制図)

- 実施体制図を記載してください。
- 事業に参画する法人を体制図内で明記してください。体制が変わる場合は、その旨がわかるように記載してください。その際、事業者名を明示ください。
- 実施体制図中の技術開発項目の名称(例:「〇〇〇〇〇の開発」)は、次ページ(4-1 技術開発予算と研究員の年度展開)での表中の名称とあわせてください。
- 【体制一覧】の表に、助成事業者となる企業の規模(資本金、従業員数等)を記載してください。
- 企業規模による区分(大企業等)や会計監査人名を記載する際には、公募要領p.3~4を参考にしてください。
- みなし大企業の場合には、【大企業出資比率一覧】を記載してください。該当しない場合には表を削除してください。

[4]. 技術開発計画。

4-1. 技術開発予算と研究員の年度展開。

(記載事項)。

- ・ 技術開発項目とその技術開発費。

(例 1) タイプ E、F(実用化開発フェーズ又は実証開発フェーズで3年事業を計画している場合)。

単位:百万円 ()内は人数。

技術開発項目	担当	2020年度				2021年度				2022年度	総額
		1	2	3	4	1	2	3	4		
1. ○○○○の開発	○○○○(株)									5(6)	155
(1).....の開発	◇◇◇◇大学 (共同研究)				5(2)				5(3)	2(2)	12
(2).....の開発	○○○○(株)								5(6)	120(6)	170
2. △△△△の開発											
(1).....の開発	△△△△(株)				3(5)				3(7)	2(5)	140
(2).....の開発	△△△△(株)								3(3)	10(3)	40
3. ◇◇◇◇の評価	○○○○(株)									3(3)	3
合計					115 (13)				245 (25)	160 (25)	520

4-2. 当初交付期間(2020年度～2021年度)の技術開発費の積算内容。

項目(例)	積算内訳 [金額(円単位)]
I. 機械装置等費	*****
1. 土木・建築工事費	*****
2. 機械装置等製作・購入費	*****
3. 保守・改修修理費	*****
II. 労務費	*****
1. 研究員費	*****
2. 補助員費	*****
III. その他経費	*****
1. 消耗品費	*****
2. 旅費	*****
3. 外注費	*****
4. 諸経費	*****
IV. 委託費・共同研究費	*****
1. 委託費・共同研究費	*****
2. 学術機関等に対する共同研究費 (定額助成)	*****
総額	*****

「様式4」提案書本文(特に注意すべき事項) ②

[4] 技術開発計画(4-1 技術開発予算と研究員の年度展開)(3年事業の場合)

・ 技術開発項目毎の担当、技術開発費がわかるように記載してください。

※消費税は含めない。

・ 表中の技術開発項目の名称(例:「○○○
○○の開発」)は、前ページ(3-1 実施体制
図)の図中の名称とあわせてください。

・ 当初交付期間は2年間です(2022年3月末)。
※2年目(2021年度)の末に太線を入れてください。

・ ()には、その年度内の区分に投入される研究員数を記載してください。

※工数でなく、従事人数を記載してください

・ 合計金額は、「様式2」の技術開発費に転記してください。

[4] 技術開発計画(4-2 当初交付期間の技術開発費の積算内容)

・ 2020～2021年度の技術開発費を円単位で記載してください(NEDO負担額含む全体の金額)。

※消費税は含めない。

・ 交付決定時は、こちらで記載いただいた金額を超えることは原則認められません。

青字箇所は提出時に削除もしくは書き換えてください。

2020年度(第1回公募)版・実

「様式5」※書式変更不可

主任研究者候補 研究経歴書
(技術開発責任者)

今回提案の技術開発を遂行する際の
全体責任者(1名)を兼ねる場合は(技
術開発責任者)と記載してください。

「様式5」 主任研究者候補 研究経歴書

フリガナ 氏名	ネド イチロウ 根戸 一郎	生年(西暦)	1967年
e-Rad所属研究機関コード*1 (10桁)	0000000000	e-Rad研究者番号*1 (8桁)	00000000
① 所属・部署名・役職名 00000000株式会社 00センター 00部 部長			
② 最終学歴・学位 〔最終学歴〕00大学大学院工学研究科物質生物学専攻博士課程修了 〔学位〕工学博士 〔学位取得年〕1900年(西暦)			
③-1 研究開発経歴・受賞歴 (記入例) 1900-2000年 00の研究開発、 2000年 00の開発で0学会0受賞		③-2 研究開発管理経歴*2 (記入例) 2000-2000年「00の研究開発プロジェクト」 においてプロジェクトリーダー	
④他の公的資金の応募・受入状況 (記入例) 00省「00の研究開発プロジェクト」において00の研究開発、 00省00制度で00の研究開発が採択されている			
⑤採択された場合、今回提案の技術開発に配分されるエフォート※ 00% ※個人の全仕事時間に対して当該研究の実施に必要なとする時間の配分割合(%)			
⑥今回提案の技術開発に関連する最近5年間の成果等 (記入例) 〔論文〕 1) 根戸一郎他、“00の固体有機構造”, 0学会誌, 0巻0号, p.0, 2000 〔研究発表〕 1) Nedostal, “Improvement of XXXX”, The XXX Fall Meeting '08, Oct. 12, 2008 〔特許等〕 1) 根戸一郎他、“00組成物”, 特開平00-000000			
⑦今回提案の技術開発体制における役割 (記入例) 責任者となる技術開発項目「000000」(技術開発項目の責任者を兼ねる場合は記載してください)。 主として00000の開発を担うと共に、今回提案の技術開発目標の着実な達成のために、0000、△△△ △に従事する。			

(主任研究者候補1名毎に1ページ以内で記載してください)

- *1 提案者の主任研究者候補については記入必須です(委託先、共同研究先については、不明もしくは保有していない場合は省略可)
- *2 研究開発管理経歴: 研究開発プロジェクトにおけるプロジェクトリーダー、研究代表者、企業等における研究開発マネジメント等のご経験を指します
- ・取得した個人情報については、技術開発等実施体制の審査のために利用するとともに、情報の一部(氏名、所属、生年、性別)が、技術開発テーマ名及び助成金額等の情報と合わせて、e-Radへ提供又は政府研究開発データベース作成のために利用されます
- ・特定の個人を識別しない状態で加工した統計資料の作成又は学術研究の目的のため等に利用することがあります
- ・ご提供いただいた個人情報は、上記の利用目的以外で利用することはありません。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます

主任研究者候補毎に1ページ以内で作成してください。
印刷後、文字が切れていないか確認してください。

技術開発責任者を兼ねる主任研究者候補は、本様式の
タイトルの下に“(技術開発責任者)”と記載してくだ
さい。

提案者の主任研究者候補については、e-Radの所
属研究機関コード(10桁)および研究者番号(8桁)を
必ず記載してください。

個人の全仕事時間に対して当該研究の実施に必要と
なる時間の配分割合(%)を記載してください。

「役割」には、技術開発項目の責任者も兼ねる場合、
その技術開発項目を記載してください。

「様式6」※書式変更不可。

主要研究員候補 研究経歴書

フリガナ 氏名	補 姓 根戸 次郎	生年(西暦)	1973年
e-Rad所属研究機関コード*1 (10桁)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	e-Rad研究者番号*1 (8桁)	〇〇〇〇〇〇〇〇
① 所属・部署名・役職名 〇〇〇〇大学 大学院〇〇研究科〇〇専攻 准教授			
② 最終学歴・学位 〔最終学歴〕 〇〇〇〇大学工学部電子情報専攻修士課程修了 〔学位〕 工学修士 〔学位取得年〕 20〇〇年(西暦)			
③-1 研究開発経歴・受賞歴 (記入例) 20〇〇-20〇〇年 〇〇の研究開発 20〇〇年 〇〇の研究開発で〇学会〇賞受賞		③-2 研究開発管理経歴	
④他の公的資金の応募・受入状況 (記入例) 〇〇省「〇〇の研究開発プロジェクト」において〇〇の研究開発 〇〇省〇〇制度で〇〇の研究開発が採択されている			
⑤採択された場合、今回提案の技術開発に配分されるエフォート※ 〇〇% ※個人の全仕事時間に対して当該研究の実施に必要なとする時間の配分割合(%)			
⑥今回提案の技術開発に関連する最近5年間の成果等 (記入例) 〔論文〕 1) 根戸次郎他、“〇〇を用いた〇〇〇〇の研究”, 〇〇学会誌, 〇巻〇号, p. 〇, 20〇〇 〔研究発表〕 1) J.Nedo et al, “〇〇〇〇〇〇”, 日本〇〇学会 講演番号〇〇, 20〇〇 〔特許等〕 2) 根戸次郎他、“〇〇における〇〇の技術開発”, 特開平〇〇-〇〇〇〇〇〇			
⑦今回提案の技術開発体制における役割 (記入例) 責任者となる技術開発項目「〇〇〇〇〇〇」(技術開発項目の責任者でない場合は記載不要です)。 今回提案の技術開発テーマ「〇〇〇〇」の開発において、専門分野である△△△△と××××の研究開発実績を基に解析と□□□□の目標達成のための開発に従事する。			

(主要研究員候補1名毎に1ページ以内で記載してください。)

- *1 提案者の主要研究員候補名、不明もしくは保有していない場合は省略可。
- 取得した個人情報については、技術開発等実施体制の審査のため利用するとともに、情報の一部(氏名、所属、生年、性別)が、技術開発テーマ名及び助成金額等の情報と合わせて、e-Radへ提供又は政府研究開発データベース作成のために利用されます。
- 特定の個人を識別しない状態で加工した統計資料の作成又は学術研究の目的のため等に利用することがあります。
- ご提供いただいた個人情報は、上記の利用目的以外で利用することはありません。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。

「様式6」
主要研究員候補 研究経歴書

主要研究員候補毎に1ページ以内で作成してください。印刷後、文字が切れていないか確認してください。

各研究開発項目の責任者となる研究員について、様式4の「3-6. 主要研究員」の研究員分を作成してください。
大学等は技術開発項目毎の責任者以外の研究者も全員分作成してください。

e-Radの所属研究機関コード(10桁)および研究者番号(8桁)が不明もしくは所有していない場合は省略可。

個人の全仕事時間に対して当該研究の実施に必要なとする時間の配分割合(%)を記載してください。

技術開発項目の責任者も兼ねる場合は、その技術開発項目を記載してください。

「様式7」応募書類等受理票

青字箇所は提出時に削除もしくは書き換えてください。

NEDO 使用欄
2020年度(第1回公募)版・実

「様式7」※書式変更不可(提案者ごとに作成してください)。)
応募書類等受理票(NEDO 控)
受理番号

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」に関する応募書類等。

技術開発フェーズ: ○「○○○○」

技術開発テーマ名: ○○○○○○の開発

提出者チェックをした上で
提出してください。

空欄にしてください。

年 月 日

会社名: ○○○○○株式会社
代表者名: 役職名 ○○ ○○
所在地: 〒○○○-○○○
○○県○○市○○町○丁目○番地○号

担当者:
所属: ○○部○○課
役職名: ○○課長

※担当者が上記所在地と異なる場合は、以下の項目も記載願います。

所在地: 〒○○○-○○○
○○県○○市○○町○丁目○番地○号
TEL: △△△△-△△-△△△△
FAX: △△△△-△△-△△△△
E-mail: ****@*****

提案者チェック	NEDO チェック
<input type="checkbox"/> 表紙	(正1部、副2部) × 提案者数 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 提案書要約版	正1部、副2部 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 提案書本文	正1部、副2部 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 主任研究者候補研究経歴書	正1部、副2部 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 主要研究員候補研究経歴書	正1部、副2部 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 応募書類受理票	1部 × 提案者数 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 電子データ(媒体DVD-R)	1部 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> NEDO 技術開発プロジェクト実績評価票	正1部、副2部 (併制内全法人数) <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 利害関係確認情報	正1部、副2部 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 事業成果の広報活動に対する同意	正1部、副2部 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 返却用封筒(受理票返送用)	1通又は提案者数 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 返却用封筒(採択不採択結果返送用)	1通又は提案者数 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 会社経歴書、決算報告書(直近3年分) ※ホームページに公開されている場合は、 ホームページアドレスを記載	1式 × 提案者数 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> http://	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> e-Read用 応募内容提案書	1部 <input type="checkbox"/>

(割印は押さないでください。)

切り取り

割
印

受理番号

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」に関する応募書類等。

技術開発フェーズ: ○「○○○○」

技術開発テーマ名: ○○○○○○の開発

空欄にしてください。

応募書類受理票

年 月 日

会社名: ○○○○○株式会社
担当者名: ○○ ○○ 殿

貴殿から提出された標記応募書類等を受理しました。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
省エネルギー部 印

- ・ 応募書類の確認と受理の連絡に使用します。
- ・ 連名提案の場合は、**提案者毎**に「様式7」を作成してください。

提案者チェック欄は、必ず自主チェックをしてから提出してください。

日付は空欄にしてください。

会社経歴書、決算報告書につきましては、ウェブサイトに掲載されている場合、提出不要です。その場合、資料が掲載されているURLを記載してください。

代表者、担当者等に変更があった場合は、速やかに事務局へ連絡してください。

青字箇所は提出時に削除もしくは書き換えてください。

「様式8」※書式変更不可 実施体制に含まれるすべての法人ごとに「様式8」を作成ください。

NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票

企業ごとに本票を複製して記入してください。

実施実績が多くある場合は、効果が大きい順に複数(最大5種)お書きください。

1. 今回提案するプロジェクト	戦略的省エネルギー技術革新プログラム
2. 企業名	〇〇株式会社
3. 記載免除条件	<p>< 下記に該当する場合チェックしてください。過去の実施実績欄の記載は不要です。 ></p> <p><input type="checkbox"/> 過去 15 年間に、NEDOプロジェクト実施実績なし。</p> <p><input type="checkbox"/> 同一年度に既に他の公募にて提出済。 (応募事業名:〇〇〇技術開発 公募期間:〇年〇月〇日~〇年〇月〇日)。</p>
4. 直近の報告	<p><input type="checkbox"/> 類似の調査にて報告済(調査名:〇〇に関する調査)。</p> <p><input type="checkbox"/> 同一年度追跡調査にて報告済(※プロジェクト終了後 6 年以内)。 (該当プロジェクト名:P00000 〇〇技術開発)。</p> <p><input type="checkbox"/> 同一年度に企業化状況報告書(又は実用化状況報告書)にて報告済。 (※特定の助成事業が終了後 6 年以内、基盤技術研究促進事業終了後 11 年以内又は 16 年以内)。 (該当制度名:〇〇事業)。</p>
5. 過去の実施実績	<p>※過去 15 年以内に実施したNEDOプロジェクトの成果について記載してください。なお、「3. 記載免除条件」に該当する場合は、本項目の記載は一切不要です。また、「4. 直近の報告」に記載した事業については、記載不要です。ただし、上記のいずれかに該当する場合でも、報告内容に変更があった場合は、本項目に記載いただいてもかまいません。(直接的なものに限らず、波及効果・派生技術・知財ライセンス・技術移転等も含む)。</p> <p>●プロジェクト番号・名称:P00000 〇〇技術開発</p> <p>●実施期間:〇〇年度~〇〇年度</p> <p>●プロジェクトで生み出した技術的成果と実用化の状況:。 (例)・当該事業で開発した〇〇〇技術を、△△△製品の×××として活用している。</p> <p>・当該事業で開発した〇〇〇技術を利用して△△△の製造をしている。</p> <p>・当該事業で取得した〇〇に関する特許を他社にライセンス供与している。</p> <p>●成果が活用されている製品名:。</p> <p>●直近の売上額:。</p> <p>●その他(社会的便益、CO₂削減効果、雇用創出など):。</p> <p>●記入者連絡先</p> <p><input type="checkbox"/> 提案者と同じ</p> <p><input type="checkbox"/> それ以外</p> <p>所属・氏名: 住所:。 電話: e-Mail:。</p>

「様式8」
NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票

実施体制に入る **すべての法人(委託先、共同研究先を含む) 毎**に、本票を複製して記載してください。

過去15年以内に実施したNEDOプロジェクトの成果について記載してください。

「様式9-1」 利害関係確認情報

「様式9-1」※書式変更不可。
(※様式9-1は、外部専門家に公開しません。)

— 利害関係確認情報 —

- NEDOでは採択審査にあたり、大学等の外部専門家による審査を取り入れています。外部専門家には、知り得た情報は審査以外の目的に利用することを禁じています。
- また、NEDOは、提案者と外部専門家との間に利害関係がないように細心の注意を払い、なお万全を期すため、外部専門家本人にも事前に確認を求め、利害関係者による審査を排除しています。
- 上記を補完するため、提案者の皆さまにも利害関係に関する情報の提供をお願いいたします。

< 実施者が想定する利害関係者 >

利害関係者に該当する者の所属、氏名を記載してください。
(例)
なし

< ありの場合 >

大学 学部 学科 氏

* 実施体制に入るすべての法人(委託先、共同研究先を含む)が対象です。
* 各法人分をまとめ、1ページに記載してください。

提案者が想定する利害関係対象者を記載してください。
実施体制に入るすべての法人（委託先、共同研究先を含む）が対象です。
各法人分をまとめ、1ページに記載してください。

「利害関係者」とは、下記①項目のいずれかに該当する方を言います。心あたりのある方があれば記載してください。**ない場合は「なし」と記載してください。**

- ① 提案書に氏名が記載された技術開発責任者、主任研究者、主要研究員の四親等以内の血族、三親等以内の姻族、同居の親族のうち、今回提案の技術に関連すると思われる学識経験者
- ② 提案する課題と直接的な競合関係にあると思われる学識経験者
- ③ 提案テーマの実施体制に入っていないが、実質的な協力関係にある学識経験者

ない場合は「なし」と記載してください。

* 学識経験者:学問上の高い知識を持ち、大学・公的な研究開発機関に所属する者

「様式9-2」 利害関係確認情報

「様式9-2」※書式変更不可

一利害関係確認情報一

様式9-2は、書面審査委員、採択審査委員に送付し、委員が利害関係を確認する情報として使用します。よって、<テーマ概要>には、競合関係を特定することが可能と考える技術的なポイントを、問題ない範囲で出来るだけ詳細に記載してください。審査委員から、利害関係の有無の判断がつかないとのコメントがあった場合には、追加情報の提供をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いいたします。

審査委員が利害関係を確認する情報として使用します。

<提案者及び研究者>

A株式会社

(技術開発責任者 △部 ××課 ○○氏、主任研究者 △部 ××課 ○○氏、○○氏、主要研究員 △部 ××課 ○○氏)

B大学

(技術開発責任者 ○○学部 □□学科 ○○氏、主任研究者 ○○学部 □□学科○○氏、主要研究員 ○○学部 □□学科 ○○氏)

*実施体制に入るすべての法人(委託先、共同研究先を含む)について、この欄内にまとめて記入してください。大学の場合は、学部、学科名まで記載してください。

実施体制に入る**すべての法人（委託先、共同研究先を含む）**について、この欄内にまとめて記載してください。

<技術開発テーマ名>

○○の研究開発

テーマ概要には、競合関係を特定することが可能と考える技術的なポイントを、問題ない範囲で出来るだけ詳細に記載してください。

<テーマ概要>

競合関係を特定することが可能な内容を問題ない範囲で出来るだけ詳細に記載してください。

「様式10」 事業成果の広報活動に対する同意

「様式10」※書式変更不可。

事業成果の広報活動に対する同意

提案者名称 ○会社、△大学（実施体制に含まれるすべての法人名を記入してください）

助成事業の名称 ○○の研究開発

本事業では、交付規程第9条第1項二十一号及び第23条第2項に定める報道機関その他への成果の公開・発表等については、公募要領に従い、以下のとおりとします。

- ① 本事業の成果、実用化・製品化に係る発表又は公開(取材対応、ニュースリリース、製品発表等)を実施する際は事前に NEDO に報告を行うものとする。特に記者会見・ニュースリリースについては事前準備等を鑑み原則公開の3週間前に報告を行うものとする。
- ② 報告の方法は、文書によるもの他、電子媒体(電子メール等)による通知を認める。その際、NEDO からの受領の連絡をもって履行されたものとする。
- ③ 公開内容について NEDO と事業者は内容を調整・合意のもと、協力して効果的な情報発信に努めるものとする。
- ④ 前項目に基づき発表又は公開する場合において、特段の理由がある場合を除き、記載例を参考にしてその内容が「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」の成果として得られたものであることを明示する。なお、その場合には、NEDO の了解を得て NEDO のシンボルマークを使用することができる。

【成果の発表又は公開する場合の記載例】

「この成果は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」において得られたものです。」

【事業化・製品化等について発表又は公開する場合の記載例】

「これは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」において得られた成果を(一部)活用しています。」

本事業の実施者には、NEDOと協力して効果的に情報発信することを了解していただきます。

対外発表を計画する場合は、**十分な時間的余裕をもってNEDOに報告**することご注意ください。
※原則公開の1か月前

提出書類チェックリスト

2020年度(第1回公募)版・実

提出書類チェックリスト※提出する前に、下記事項を確認してください。本様式は提出不要です。

様式名等	項目名	確認事項	レ
e-Rad	研究共通情報	技術開発課題名が様式1, 2, 3, 4と一致しているか?	..
	研究経費情報	使用内訳の年度期間が様式4と一致しているか? (タイプDの場合) 実証開発期間の予算額も入力されているか?	..
	研究組織情報	主任研究者の情報が連名提案先・委託先・共同研究先もきめ正しいか? 直接経費と間接経費の合計額は様式4の4-1技術開発予算と研究員の年度期間と一致しているか? 共同研究先の大学以外が間接経費を計上していないか? 大学の場、主要研究員も入力されているか?	..
	応募・受入状況	他の公的資金を受けている場合、その内容が入力されているか?	..
様式1～、 様式10共通	全般	技術開発フェーズ名と技術開発テーマ名が各様式間で一致しているか? 書きの注意書きが残ったままになっていないか? 片面、白黒印刷になっているか?	..
様式1	押印	代表者の役職印が押印されているか?(社印のみは不可、代表者のサインは可。)	..
	e-Radコード	e-Radの所属研究機関コードが記載されているか?	..
様式2	全般	1ページ以内に収まっているか?また、文字が切れていないか?	..
様式3-1	技術開発責任者	提案者の主任研究者の中から選任されているか?	..
	技術開発費	年度毎の金額が、様式4の4-1技術開発予算と研究員の年度期間と一致しているか?	..
	主任研究者	様式4の3-5主任研究者と一致しているか?	..
様式3-2	委託・共同研究先	様式4の3-2委託、3-3共同研究と一致しているか?	..
	重要技術	正しく選択されているか?該当しない場合は「該当無し」と記載されているか?	..
	省エネルギー効果量	様式4の1-7省エネルギー効果量(国内の20××年度【参考値】、2030年度の値)と一致しているか?	..
様式3-2	重要技術	正しく選択されているか?該当しない場合は「該当無し」と記載されているか?	..
	省エネルギー効果量	様式4の1-7省エネルギー効果量(国内の20××年度【参考値】、2030年度の値)と一致しているか?	..
	全般	20ページ以内に収まっているか?	..
3-1実施体制	1-6	20××年度の××が、販売開始から3年後に書き換えられているか?	..
	省エネルギー効果	計算結果と表中の値が一致しているか?	..
		提案者/委託先/共同研究先が明記されているか?左記以外の法人の記載が無いのか? 連名提案で委託先/共同研究先がある場合、所管の提案者が判るようにしているか? 法人毎に担当技術開発内容と開発費用が書かれているか? 開発内容と開発費用は4-1技術開発予算と研究員の年度期間と一致しているか? 委託先/共同研究先の開発費用が、提案者の開発費用の内訳になっているか? 委託先と共同研究先の開発費用合計が、提案者の開発費用の50%未満になっているか?	..
様式4	3-5主任研究者	技術開発責任者も書かれているか? 委託先や共同研究先の主任研究者も書かれているか? 様式5の記載事項と一致しているか?	..
	3-6主要研究員	様式6の記載事項と一致しているか?	..
	4-1技術開発予算と研究員の年度期間	縦/横の合計額が一致しているか? 委託先や共同研究先の予算と研究員も書かれているか? 当初交付決定期間(2021年度)も表と本誌が引かれているか?	..
4-2当初交付期間の技術開発費積算内容	4-1技術開発予算と研究員の年度期間の開発予算と一致するか?	単位が円になっているか?	..
	5-4提案書提出に際しての合意	合意者は、提案者の代表者となっているか? 連名提案の場合、全員の氏名が書かれているか?	..
	研究者番号	e-Radの研究者番号が書かれているか?	..
様式6	全般	国立研究開発法人、大学等の場合、全員分が揃っているか?	..
様式7	会社経歴書等	添付しない場合、左記情報が掲載されたホームページのアドレスが書かれているか?	..
様式8	NEDO技術開発プロジェクトの実績調査票	実施体制に入るすべての法人ごとに複製して記入されているか?	..
様式9-1、 様式9-2	利害関係確認情報	実施体制に入るすべての法人分をまとめて記入されているか?	..
様式10	事業成果の広報活動に対する同意	実施体制に入るすべての法人名(委託先、共同研究先含む)が記入されているか?	..

・ 提出書類チェックリストは、NEDOへ提出する必要はありません。
・ 書類を提出する前に必ずこのチェックリストを使用し、間違いがないか確認してください。

基本スキームの説明は以上です。
作成時は、注意事項等、再度確認してください。

様式等説明

テーマ設定型事業者連携スキーム

(※基本スキームとの主な違いは★印にて表示)

「様式1」 提案書表紙

青字箇所は提出時に削除もしくは書き換えてください。

NEDO 使用欄
2020年度(第1回公募)版・テ...

「様式1」 ※書式変更不可。提案者毎に「様式1」を作成してください。

ヘッダーの様式タイプを確認してください。

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム(テーマ設定型事業者連携スキーム)」に関する提案書

技術開発テーマ名: ○○○○○○の開発

◆技術開発テーマ名
「○○○○○の開発」と記載。
技術開発の内容がわかるよう具体的かつ簡潔なテーマ名としてください。
e-Rad に登録する技術開発テーマ名と同じにしてください。

提案者毎に「様式1」を作成してください。

(西暦で記入)年○○月○○日

機関名(組織・団体名) ○○○協会、○○コンソーシアム、○○○○株式会社 印

所属部署 ○○○開発本部

役職名 ○○研究員

代表者名 ○ ○ ○ ○ 印(又はサイン)

注)提案者の所属する法人の代表者名あるいは権限を委譲された代表者名を記載してください。

注1)企業単独での提出は受理しません。必ず、提案機関は複数事業者の連名または今回の提案のとおりまとめた組織・団体(業界団体、コンソーシアムなどを想定)としてください。

技術開発テーマ名は技術開発の内容がわかるよう具体的かつ簡潔に記載してください。
(e-Radへも同じ名前で登録してください)

所在地 ○○県○○市○○町○○丁目○○番地○○号 (郵便番号○○○-○○○)

NEDOからの問い合わせは、ここに記載された連絡先へさせていただきます。確実に連絡がとれる連絡先を記載ください。

※担当者の連絡先を下記に記載してください。
(返送用封筒にも同様に、所在地、連絡先を記載してください)

連絡先 所属 ○○○部 △△△課

役職名 ○○○○課長

氏名 ○○ ○○

e-mail *****@*****

(連絡先所在地)

○○県○○市○○町○○丁目○○番地○○号 (郵便番号○○○-○○○)

TEL △△△△-△△-△△△△(代表) 内線 △△△△

FAX △△△△-△△-△△△△

代表者、連絡先等に変更があった場合は速やかに事務局に連絡してください。

e-Rad における所属研究機関コード(10桁) ○○○○○○○○○○

(提案者毎に1ページで記載してください)

e-Radに登録の上、必ず記載ください。

所属研究機関コードのe-Rad ID (10桁)を必ず記載してください。

「様式2」 提案書要約版

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム(テーマ設定型事業者連携スキーム)」に関する提案書要約版

技術開発フェーズ	「テーマ設定型事業者連携スキーム」		
技術開発テーマ名	○○○○○の開発(「様式1」添付、e-Filedに登録する技術開発テーマ名と同一とすること) (注:1企業単独での提出は受理しません。必ず、提案機関は複数事業者名の連名または今回提案のとりまとめ組織・団体(業界団体、コンソーシアムなどを想定)としてください。		
技術開発責任者	振戸 一郎		
提案者	法人名	(例) ○○○協会、○○コンソーシアム、○○○○(株)、○○○○(株)、など	
	代表者役職名	代表取締役社長	
	代表者氏名	振戸 太郎	
	連絡先所属	○○株式会社	
	連絡先役職	部長	
	連絡先氏名	振戸 一平	
	TEL (半角入力)	9999-9999-9999	
	FAX (半角入力)	9999-9999-9999	
	e-mail (半角入力)	9999@9999999999	
	資本金又は出資金	百万円	
	従業員数	人	
	売上高	2016 年度	百万円
		2017 年度	百万円
		2018 年度	百万円
	総有機体	2016 年度	百万円
2017 年度		百万円	
2018 年度		百万円	
主任研究者	所属	○○センター ○○部	
	氏名	○○ ○○	
	役職	部長	
提案者	法人名		
	代表者役職名		
	代表者氏名		
	連絡先所属		
	連絡先役職		
	連絡先氏名		
	TEL (半角入力)		
	FAX (半角入力)		
	e-mail (半角入力)		
	資本金又は出資金	百万円	
	従業員数	人	
	売上高	2016 年度	百万円
		2017 年度	百万円
		2018 年度	百万円
	総有機体	2016 年度	百万円
2017 年度		百万円	
2018 年度		百万円	
主任研究者	所属		
	氏名		
	役職		
委託	法人名	○○○○企業	
	所属	○○株式会社	
	氏名	○○ ○○	
	役職	チームリーダー	
委託	法人名		
	所属		
	氏名		
	役職		
共同研究	法人名	○○○○大学	
	所属	大学院○○研究室○○専攻	
	氏名	○○ ○○	
	役職	教授	
共同研究	法人名		
	所属		
	氏名		
	役職		
技術開発期間	年		
技術開発費	2020 年度	百万円	
	2021 年度	百万円	
	年度	百万円	
	年度	百万円	
	年度	百万円	

印刷物と電子データの両方を提出してください。

1 ページ以内で作成してください。
印刷後、文字が切れていないか確認してください。

＜技術開発責任者＞
提案者の主任研究者のうち、技術開発を遂行する際の全体責任者（技術開発責任者）を1名記載してください。
委託先、共同研究先の主任研究者を技術開発責任者とすることはできません。

提案者、委託先、共同研究先は適宜それぞれ行を追加して全法人を記載してください。

法人毎に主任研究者（本提案の技術開発を遂行する際の責任者）を1名記載してください。

技術開発費は、様式4(提案書本文)の4-1から転記してください。

（注意事項） ※着色は行を削除しないでください。
1ページ以内で作成して下さい。（印刷後、文字が切れていないこと及び2ページにまたがっていないことを確認して下さい。）

「様式3-1」 提案書要約版

「様式3-1」 ※書式変更不可 青字箇所は提出時に削除もしくは書式を換えてください。

2020年度(第1回公募)版・テ

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム(テーマ設定型事業者連携スキーム)」に関する提案書要約版

技術開発フェーズ	「テーマ設定型事業者連携スキーム」	
技術開発テーマ名	〇〇〇〇〇〇の開発(「様式1」記載、4-Radに登録する技術開発テーマ名と同一とする)※	
法人名	〇〇〇〇〇〇〇〇(株)(技術開発責任者の法人名を記載)	
事業化の背景 (300文字以内)	様式4の「1-1. 事業化の背景」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 *今回技術開発成果の事業化に際し、狙う市場とその市場の状況(市場規模や成長性、既存市場との競合性など)、課題、狙う市場での課題を解決もしくは解決する可能性のある国内外の既存技術の内容と今回提案技術との差異	
テーマ設定型事業者連携である説明 (200~250文字程度)	技術開発課題	(例)「省エネ型建築付加価値プロセス」に関する革新的な技術開発
	様式4の「1-8. 「テーマ設定型事業者連携スキーム」である説明」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 *今回技術開発が「テーマ設定型事業者連携スキーム」に該当する説明	
事業化シナリオ (300文字以内)	様式4の「1-2. 事業化シナリオ」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 *経済性やコスト削減、普及に至るまでの環境整備(標準化や規制対応、知財戦略、滞在顧客とのコミュニケーション)、開発成果の社内事業戦略における位置づけ *今回技術開発成果による波及効果、事業化による高い新規市場創出効果	
経済的波及効果等 (100文字以内)	様式4の「1-4. 経済的波及効果等」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 *「1-2. 事業化シナリオ」に記述した以外に、今回技術開発成果による波及効果、新規市場創出効果 *該当しない場合は「該当なし」と記述。	
今回提案の技術内容と課題 (300文字以内)	様式4の「1-5. 今回提案の技術内容と課題」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 *開発課題(箇条書き)	
今回提案技術の独自性、優位性、革新性 (300文字以内)	様式4の「1-6. 今回提案技術の独自性、優位性・革新性」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 *提案時点における、競合技術に対する今回提案技術の独自性・優位性・革新性を、定量的に記述。 *具体的には、今回提案技術と国内外における従来の方式・方法または競合技術を、技術分野に冠した適切な尺(省エネルギー性、コスト、持続性、処理量、運送距離時間、重量等)を用いて記述。 *可能であれば、今回提案の技術開発目標年における、他の競合技術に対する独自性・優位性・革新性を定量的に提示(革新性とは様式4の「1-6. (注2)を参照してください)。	
具体的な技術開発項目・内容・目標 (300文字以内)	様式4の「1-7. 具体的な技術開発項目・内容・目標」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 *技術開発の具体的な手法、進め方 *技術開発項目・内容・目標の達成度合いを定量的に示すための具体的な方法、判断基準 販売開始から3年後の年数とする 但し、20XX年度が2030年度を超える場合には、未記入とする	
省エネルギー効果量 (原単位換算値)	20XX年度	XXkL
	2030年度	XXkL (2030年時点で原単位換算値10万kL/年以上であること)
電力需給緩和への効果 (100文字以内)	様式4の「1-9. 電力需給緩和への効果」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 *電力需給のピークカット、ピークシフトへの効果 *該当しない場合は「該当なし」と記述。	
社会的貢献度 (100文字以内)	様式4の「1-10. 社会的貢献度」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 *被災地の復興または社会の構造改革や地域活性化等への貢献 *該当しない場合は「該当なし」と記述。	
当該技術の技術開発実績 (300文字以内)	様式4の「2-1. 当該技術の技術開発実績」の内容を簡潔にまとめ、記述してください。 *提案者の実施能力及び技術的な優位性と実績	

【注意事項】
*上記の記載例に使い、1ページ以内で作成してください。(印刷後、文字が切れていないことを確認してください。)

印刷したものと電子データ両方を提出してください。

1 ページ以内で作成してください。
印刷後、文字が切れていないか確認してください。

様式4 (提案書本文) の記載内容を転記または要約し、
簡潔に分かりやすく記載してください。

- ・ 技術開発課題 (※) をプルダウンにて選択してください。
※公募要領「1-3. (2)」の「公募の対象となる技術開発課題」一覧参照

★「テーマ設定型事業連携スキーム」の対象である説明を記載してください。

★該当する重要技術(公募要領 添付資料1参照)を選択して記載してください。

<省エネルギー効果量>

- ・ “20××年”は提案技術が製品化された後、販売開始から3年後時点にあたる年に変更してください。
- ・ 様式4の「1-8. 省エネルギー効果量」から転記してください(国内分のみ)。

「様式3-2」 提案書要約版

(様式3-2) 提案書要約版



テーマ名:○○○○○○○○○○の開発
 提案者:○○○○○株式会社
 共同研究・委託先:○○○○大学、国立研究開発法人×××××、一般社団法人△△△△
 成果普及団体:

簡潔にご記入ください。
 文字の大きさはそれぞれのポイントで作成ください。
 青字部分は作成時編集・削除してください。

(NEDO使用欄)
 提案番号:

印刷したものと電子データ両方を提出してください。

◆事業化の背景
 様式4の[1-1. 事業化の背景]および様式3-1と整合性を取って簡潔に記載ください。

◆「テーマ設定型事業者連携スキーム」の対象である説明
 様式4の[1-2. 「テーマ設定型事業者連携スキーム」の対象である説明]および様式3-1と整合性を取って簡潔に記載ください。

2ページで作成してください。
 印刷後、文字が切れていないか確認してください。

◆事業化シナリオ
 様式4の[1-3. 事業化シナリオ]および様式3-1と整合性を取って簡潔に記載ください。

◆経済的波及効果等
 様式4の[1-4. 経済的波及効果等]および様式3-1と整合性を取って簡潔に記載ください。

★「テーマ設定型事業連携スキーム」の対象である説明を記載してください。
 ★該当する重要技術（公募要領 添付資料1参照）を選択して記載してください。

◆提案技術の内容
 簡潔に記載ください。
 様式4の[1-5. 今回提案の技術内容と課題] [1-6. 今回提案技術の独自性、優位性、革新性]および様式3-1と整合性を取って記載ください。

◆技術概要図
 テーマの課題・概要がわかる図/写真/表等

(様式3-2) 提案書要約版

様式4（提案書本文）の記載内容を転記、または要約し、簡潔に分かりやすく記載してください。

◆技術開発目標
 様式4の [1-7. 具体的な技術開発項目・内容・目標]および様式3-1と整合性を取って簡潔に記載ください。

◆実施体制
 様式4[3-1. 実施体制]図/表/表記

◆省エネルギー効果量・計算根拠(A:単位当たりの省エネ量、B:市場規模の見直し)

算出根拠がわかるように、できるだけ具体的に表現ください

20XX年		2030年	
指標A	指標B	指標A	指標B
算出の基になった数値を記載	算出の基になった数値を記載	算出の基になった数値を記載	算出の基になった数値を記載
[効果量]〇万kL		[効果量]〇万kL	

「様式4」 提案書本文

「様式4」※書式変更不可、20頁以内 (21頁以降は審査の対象としません)。

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム(テーマ設定型事業者連携スキーム)」に関する提案書本文。

技術開発テーマ名:○○○○○○の開発。

(記載事項)。

- 技術開発テーマ名は、「○○○○○○の開発」と記載してください。

技術開発の内容がわかるよう具体的かつ簡潔なテーマとし、「様式1」、e-Red に登録するテーマ名と同一にしてください。

(一行改行)。

[1] 事業化シナリオおよび技術開発の内容。

(一行改行)。

1-1. 事業化の背景。

(記載事項)。

- 狙う市場とその市場の状況(市場規模や成長性、既存市場との親和性など)、課題。
- 国内外の既存技術の内容とその課題。
- 今回提案技術の独自性、優位性、革新性。

(注) ポイントのみ簡潔に記載し、詳細は[1-5. 今回提案の技術内容と課題]、[1-6. 今回提案技術の独自性、優位性、革新性]へ記載してください。

- 「重要技術」との関連性。

(一行改行)。

1-2. 「テーマ設定型事業者連携スキーム」の対象である説明。

(記載事項)。

- 今回の提案が「テーマ設定型事業者連携スキーム」の対象である説明を記載してください。
- 成果の普及に関し、今回の提案の取りまとめ組織、団体等の果たす役割を具体的に記載してください。

(一行改行)。

1-3. 事業化シナリオ。

[今回提案の技術開発成果の製品イメージ図]。

(注1) 今回提案技術開発の対象とする範囲が限定される場合は、その範囲を明示してください。



(記載事項)。

- 今回提案技術開発成果の製品の説明。
- 事業化する時期や方法、ユーザー評価等の計画およびそれらを実施する体制。
- 製品化の後、販売開始から3年後までの販売等に係わる計画および2030年までの販売等に係る見

1.

「様式4」の1ページ目を「1」とし、ページ下段中央に記載ください。

- 印刷したものと電子データの両方を提出してください。
- 審査基準を参照し、わかりやすく記載してください。
- 必要に応じて図、表を挿入し、わかりやすく記載してください。
- 図および表を含めて**20ページ以内**で作成してください。21ページ以降は**審査対象外**です。
- 各項目の注意事項に従い作成ください**
注意事項に記載のポイントが不明な場合は、事務局にお問い合わせください。

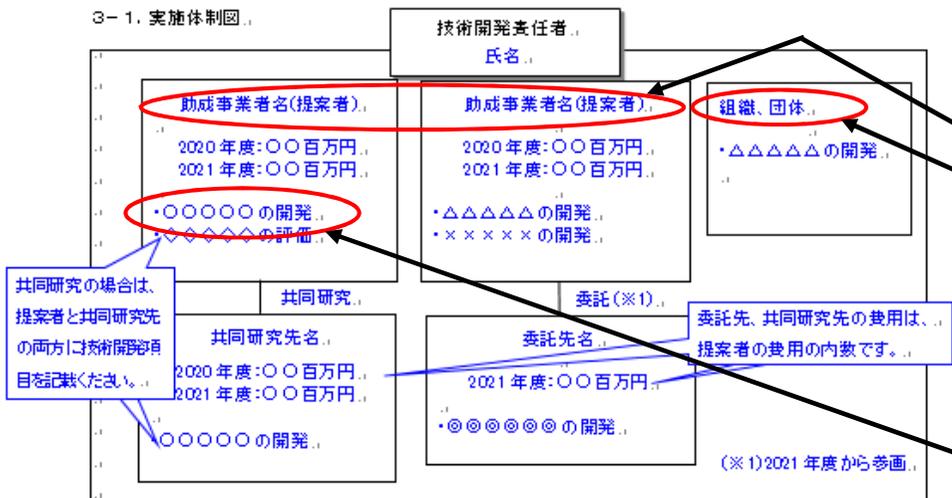
★「**テーマ設定型事業連携スキーム**」の対象である説明を記載してください。

★該当する**重要技術**（公募要領 添付資料1 参照）を選択して記載してください。

★3年以上の事業の場合は**中間目標**（2年後）と**最終目標**を記載してください。

「様式4」 提案書本文（特に注意すべき事項）①

3-1. 実施体制図



共同研究の場合は、提案者と共同研究先の両方に「技術開発項目」を記載ください。

委託先、共同研究先の費用は、提案者の費用の内数です。

・ 企業の場合(含む、委託先、共同研究先)は、下記の表に必要な事項を記載してください。大企業、中堅、中小、ベンチャー企業の種別は公募要領内の定義を参照してください。会計監査人の設置については、会社法337条により大会社や指名委員会等設置会社などに設置が義務付けられている株式会社の機関の一つです。監査役と異なり、独立的な立場から財務諸表等の監査を行います。なお、大会社、委員会設置会社以外の株式会社も会計監査人を設置することができます。設置されている場合は公認会計士又は監査法人名を記載してください。

【体制一覧】(含む、委託先、共同研究先)

企業名	資本金	従業員数	大企業、(※)みなし大企業・中堅・中小・ベンチャー企業の別	会計監査人名
〇〇〇株式会社				
△△△株式会社				

従業員数、資本金は応募時点を基準としてください。

会計監査人の設置がない場合は「なし」と記入ください。

【大企業出資比率一覧】(みなし大企業に該当する場合)

大企業 社名	出資比率(%)

※：みなし大企業とは、中小企業の資本金基準、従業員基準を満たす場合でも、大企業の出資比率が以下の比率を越える企業を指します。

- 発行済株式の総数又は出資の総額の2分の1以上が同一の大企業の所有に属している企業。
- 発行済株式の総数又は出資の総額の3分の2以上が、複数の大企業の所有に属している企業。

〔3〕 事業実施スキーム (3-1 実施体制図)

- ・ 実施体制図を記載してください。
- ★2社以上の企業が必要です。
- ★開発成果の普及を促す取組を主導する組織・団体等を実施体制に含めてください。
- ・ 事業に参画する法人を体制図内で明記してください。体制が変わる場合は、その旨がわかるように記載してください。その際、原則事業者名を明示ください。
- ・ 実施体制図中の技術開発項目の名称(例：「〇〇〇〇〇の開発」)は、次ページ(4-1 技術開発予算と研究員の年度展開)での表中の名称とあわせてください。
- ・ 【体制一覧】の表に、助成事業者となる・【体制一覧】の表に、助成事業者となる企業の規模(資本金、従業員数等)を記載してください。
- ・ 企業規模による区分(大企業、中小企業等)や会計監査人の有無を記載する欄もごさいますが、公募要領p.3~4を参考に記載してください。
- ・ みなし大企業も大企業に含まれるため、それに該当する場合には、【大企業出資比率一覧】を記載してください。該当しない場合には表を削除してください。

「様式4」 提案書本文（特に注意すべき事項）②

- [4]. 技術開発計画。
 4-1. 技術開発予算と研究員の年度展開。
 (記載事項)。
 ・ 技術開発項目とその技術開発費。

単位:百万円 ()内は人数

技術開発項目	担当	2020年度			2021年度			2022年度	2023年度	2024年度	総額
		1	2	3	4	1	2				
1. ○○○○の開発											
(1).....の開発	○○○○(株)										
	◇◇◇◇大学 (共同研究)										
(2).....の開発	○○○○(株)										
(3).....の開発	○○○○(株)										
	◇◇◇◇大学 (共同研究)										
2. △△△△の開発											
(1).....の開発	△△△△(株)										
(2).....の開発	△△△△(株)										
(3).....の開発	□□□□(株) (委託)										
3. ××××の開発	△△△△(株)										
合計											

共同研究の場合は、「担当」に提案者と共同研究先の記載が必要です。

実施期間を表す線は、担当事業者毎に、記載してください。

[4] 技術開発計画（4-1 技術開発予算と研究員の年度展開）（★5年事業の場合）

- ・ **技術開発項目毎の担当、技術開発費がわかるように記載してください。**
- ※消費税は含めない。
- ・ **表中の技術開発項目の名称は（例：「○○○ ○○の開発」）は、前ページ（3-1 実施体制図）の図中の名称とあわせてください。**
- ★当初交付期間は2年間です（2022年3月末）
- ※2年目（2021年度）の末に**太線**を入れてください。
- ・ ()には、その年度内の区分に投入される研究員数を記載してください。
- ※工数でなく、**従事人数**を記載してください
- ・ 合計金額は、「様式2」の技術開発費に転記してください。

4-2. 当初交付期間(2020~2021年度)の必要経費の積算内容 (記載事項)

項目 (例)	積算内訳 [金額(円単位)]
I. 機械装置等費	
1. 土木・建築工事費	** **** **
2. 機械装置等製作・購入費	** **** **
3. 保守・改修管理費	** **** **
II. 労務費	
1. 研究員費	** **** **
2. 補助員費	** **** **
III. その他経費	
1. 消耗品費	** **** **
2. 旅費	** **** **
3. 外注費	** **** **
4. 諸経費	** **** **
IV. 委託費・共同研究費	
1. 委託費・共同研究費	** **** **
2. 学術機関等に対する共同研究費 (定額助成)	** **** **
総 額	** **** **

[4] 技術開発計画（4-2 当初交付期間の技術開発費の積算内容）

- ★2020~2021年度に必要な経費を**円単位**で記載してください（助成費含む全体の金額）。
- ・ 消費税等は計上不要です。
- ・ 交付決定時は、**こちらで記載いただいた金額を超えることは原則認められません。**

青字箇所は提出時に削除もしくは書き換えてください。

2020年度(第1回公募)版・テ...

「様式5」※書式変更不可。

主任研究者候補 研究経歴書
(技術開発責任者)

今回提案の技術開発を遂行する際の
全体責任者(1名)を兼ねる場合は(技
術開発責任者)と記載してください。

「様式5」 主任研究者候補 研究経歴書

フリガナ 氏名	ネ イ チロウ 根戸 一郎	生年(西暦)	1967年
e-Rad所属研究機関コード*1 (10桁)	0000000000	e-Rad研究者番号*1 (8桁)	00000000
① 所属・部署名・役職名 0000000000株式会社 00センター 00部 部長			
② 最終学歴・学位 〔最終学歴〕00大学大学院工学研究科物質生物工学専攻博士課程修了 〔学位〕工学博士 〔学位取得年〕1900年(西暦)			
③-1 研究開発経歴・受賞歴 (記入例) 1900-2000年 00の研究開発 2000年 00の開発で0学会0受賞		③-2 研究開発管理経歴*2 (記入例) 2000-2000年「00の研究開発プロジェクト」 においてプロジェクトリーダー	
④他の公的資金の応募・受入状況 (記入例) 00省「00の研究開発プロジェクト」において00の研究開発 00省00制度で00の研究開発が採択されている			
⑤採択された場合、今回提案の技術開発に配分されるエフォート*3 00% ※個人の全仕事時間に対して当該研究の実施に必要なとする時間の配分割合(%)			
⑥今回提案の技術開発に関連する最近5年間の成果等 (記入例) 〔論文〕 1) 根戸一郎他、「00の固体有機構造」、0学会誌、0巻0号、p.0、2000 〔研究発表〕 1) Nedgetal, "Improvement ofXXXXX", The XXX Fall Meeting '08, Oct. 12, 2008 〔特許等〕 1) 根戸一郎他、「00組成物」、特開平00-000000			
⑦今回提案の技術開発体制における役割 (記入例) 責任者となる技術開発項目「000000」(技術開発項目の責任者を兼ねる場合は記載してください) 主として0000の開発を担うと共に、今回提案の技術開発目標の着実な達成のために、0000、△△△ △に従事する			

主任研究者候補毎に1ページ以内で作成してください
印刷後、文字が切れていないか確認してください。

技術開発責任者を兼ねる主任研究者候補は、本様式の
タイトルの下に“(技術開発責任者)”と記載してくだ
さい。

提案者の主任研究者候補については、e-Radの所
属研究機関コード(10桁)および研究者番号(8桁)を
必ず記載してください。

個人の全仕事時間に対して当該研究の実施に必要と
する時間の配分割合(%)を記載してください。

「役割」には、技術開発項目の責任者も兼ねる場合、
その技術開発項目を記載してください。

- (主任研究者候補1名毎に1ページ以内で記載してください。)
- *1 提案者の主任研究者候補については、記入必須です(委託先、共同研究先については、不明もしくは保有していない場合は省略可)。
 - *2 研究開発管理経歴:研究開発プロジェクトにおけるプロジェクトリーダー、研究代表者、企業等における研究開発マネジメント等のご経験を指します。
 - ・取得した個人情報については、技術開発等実施体制の審査のために利用するとともに、情報の一部(氏名、所属、生年、性別)が、技術開発テーマ名および助成金額等の情報と合わせて、e-Radへ提供または政府研究開発データベース作成のために利用されます。
 - ・特定の個人を識別しない状態に加工した統計資料の作成または学術研究の目的のため等に利用することがあります。
 - ・ご提供いただいた個人情報は、上記の利用目的以外で利用することはありません。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。

「様式6」※書式変更不可。

主要研究員候補 研究経歴書

フリガナ 氏名	ネ ジロウ 根戸 次郎	生年(西暦)	1973年
e-Rad所属研究機関コード*1 (10桁)	0000000000	e-Rad研究者番号*1 (8桁)	00000000
① 所属・部署名・役職名 0000大学 大学院00研究科00専攻 准教授			
② 最終学歴・学位 〔最終学歴〕0000大学工学部電子情報専攻修士課程修了 〔学位〕工学修士 〔学位取得年〕2000年(西暦)			
③-1 研究開発経歴・受賞歴 (記入例) 2000-2000年 00の研究開発 2000年 00の研究開発で0学会0賞受賞		③-2 研究開発管理経歴	
④他の公的資金の応募・受入状況 (記入例) 00省「00の研究開発プロジェクト」において00の研究開発 00省00制度で00の研究開発が採択されている			
⑤採択された場合、今回提案の技術開発に配分されるエフォート※ 00% ※個人の全仕事時間に対して当該研究の実施に必要なとする時間の配分割合(%)			
⑥今回提案の技術開発に関連する最近5年間の成果等 (記入例) 〔論文〕 1) 根戸次郎他、“00を用いた0000の研究”, 00学会誌, 0巻0号, p. 0, 2000 〔研究発表〕 1) J.Nedoetal, “000000”, 日本00学会 講演番号00, 2000 〔特許等〕 2) 根戸次郎他, “00における00の技術開発”, 特開平00-000000			
⑦今回提案の技術開発体制における役割 (記入例) 責任者となる技術開発項目「000000」(技術開発項目の責任者でない場合は記載不要です)。 今回提案の技術開発テーマ「0000の開発」において、専門分野である△△△△と××××の研究開発実績を基に解析と□□□□の目標達成のための開発に従事する。			

(主要研究員候補1名毎に1ページ以内で記載してください。)

- *1 提案者の主要研究員候補含め、不明もしくは保有していない場合は省略可。
- 取得した個人情報については、技術開発等実施体制の審査のために利用するとともに、情報の一部(氏名、所属、生年、性別)が、技術開発テーマ名および助成金額等の情報と合わせて、e-Radへ提供または政府研究開発データベース作成のために利用されます。
- 特定の個人を識別しない状態に加工した統計資料の作成または学術研究の目的のため等に利用することがあります。
- ご提供いただいた個人情報は、上記の利用目的以外で利用することはありません。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。

「様式6」 主要研究員候補 研究経歴書

主要研究員候補毎に1ページ以内で作成してください。印刷後、文字が切れていないか確認してください。

各研究開発項目の責任者となる研究員について、
「3-6. 主要研究員」(様式4)の研究員分を作成してください。
大学等は技術開発項目毎の責任者以外の研究者も全員分作成してください。

e-Radの所属研究機関コード(10桁)および研究者番号(8桁)が不明もしくは所有していない場合は省略可。

個人の全仕事時間に対して当該研究の実施に必要なとする時間の配分割合(%)を記載してください。

技術開発項目の責任者も兼ねる場合は、その技術開発項目を記載してください。

「様式7」応募書類等受理票

青字箇所は提出時に削除もしくは書き換えてください。

NEDO 使用欄
2020年度(第1回公募)版・テ...

「様式7」※書式変更不可(提案者ごとに作成してください)

応募書類等受理票(NEDO 控)

受理番号

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム(テーマ設定型事業者連携スキーム)」に関する応募書類等

開発フェーズ: ○○○○

技術開発テーマ名: ○○○○○○の開発

提出者チェックをした上で提出してください。空欄にしておいてください。年 月 日

会社名: ○○○○○株式会社

代表者名: 役職名 ○○ ○○

所在地: 〒○○○-○○○

○○県○○市○○町○丁目○番地○号

担当者:

所属: ○○部○○課

役職名: ○○課長

※担当者が上記所在地と異なる場合は、以下の項目も記載願います。

所在地: 〒○○○-○○○

○○県○○市○○町○丁目○番地○号

TEL: △△△△-△△-△△△△

FAX: △△△△-△△-△△△△

E-mail: *****@*****

提案者チェック	NEDO チェック
<input type="checkbox"/> 表紙	(正1部、副2部)× <input type="checkbox"/> 提案者数
<input type="checkbox"/> 提案書要約版	正1部、副2部、 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 提案書本文	正1部、副2部、 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 主任研究者候補研究経歴書	正1部、副2部、 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 主要研究員候補研究経歴書	正1部、副2部、 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 応募書類受理票	1部×提案者数、 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 電子データ(媒体 DVD-R)	1部、 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> NEDO 技術開発プロジェクト実績評価票	正1部、副2部、 <input type="checkbox"/> (実施体制全法人)
<input type="checkbox"/> 利害関係確認情報	正1部、副2部、 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 事業成果の広報活動に対する同意	正1部、副2部、 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 返却用封筒(受理票返送用)	1通または提案者数、 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 返却用封筒(採択不採択結果返送用)	1通または提案者数、 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 会社経歴書、決算報告書(直近3年分) ※ホームページに公開されている場合は、 ホームページアドレスを記載	1式×提案者数、 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> http://	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> e-Rad用 応募内容提案書	1部、 <input type="checkbox"/>

(割印は押さないでください。)

割印

..... 切り取り

受理番号

「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」に関する応募書類等

開発フェーズ: ○○○○

技術開発テーマ名: ○○○○○○の開発

応募書類受理票 空欄にしておいてください。年 月 日

会社名: ○○○○○株式会社

担当者名: ○○ ○○ 殿

貴殿から提出された標記応募書類等を受理しました。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
省エネルギー部 印

・ 応募書類の確認と受理の連絡に使用します。
・ 連名提案の場合は、**提案者毎**に「様式7」を作成してください。

提案者チェック欄は、必ず自主チェックをしてから提出してください。

日付は空欄にしておいてください。

会社経歴書、決算報告書につきましては、ウェブサイトに掲載されている場合、提出不要です。その場合、資料が掲載されているURLを記載してください。

代表者、担当者等に変更があった場合は、速やかに事務局へ連絡してください。

赤字箇所は提出時に削除もしくは書き換えてください。

「様式8」 NEDO研究開発プロジェクトの実績評価票

「様式8」※書式変更不可 実施体制に含まれるすべての法人ごとに「様式8」を作成ください。

NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票

・企業ごとに本票を複製して記入してください。

・実施実績が多くある場合は、効果が大きい順に複数(最大5種)お書きください。

1. 今回提案するプロジェクト	戦略的省エネルギー技術革新プログラム
2. 企業名	〇〇株式会社
3. 記載免除条件	<p>< 下記に該当する場合チェックしてください。過去の実績欄の記載は不要です。 ></p> <p><input type="checkbox"/> 過去 15 年間、NEDOプロジェクト実施実績なし。</p> <p><input type="checkbox"/> 同一年度に既に他の公募にて提出済。 (応募事業名:〇〇〇技術開発 公募期間:〇年〇月〇日～〇年〇月〇日)。</p>
4. 直近の報告	<p><input type="checkbox"/> 類似の調査にて報告済(調査名:〇〇に関する調査)。</p> <p><input type="checkbox"/> 同一年度追跡調査にて報告済(※プロジェクト終了後 6 年以内)。 (該当プロジェクト名:P00000 〇〇技術開発)。</p> <p><input type="checkbox"/> 同一年度に企業化状況報告書(又は実用化状況報告書)にて報告済。 (※特定の助成事業終了後 6 年以内、基盤技術研究促進事業終了後 11 年以内又は 16 年以内)。 (該当制度名:〇〇事業)。</p>
5. 過去の実績	<p>※過去 15 年以内に実施したNEDOプロジェクトの成果について記載してください。なお、「3. 記載免除条件」に該当する場合は、本項目の記載は一切不要です。また、「4. 直近の報告」に記載した事業については、記載不要です。ただし、上記のいずれかに該当する場合でも、報告内容に変更があった場合は、本項目に記載いただいてもかまいません。(直接的なものに限らず、波及効果・派生技術・知財ライセンス・技術移転等も含む)。</p> <p>●プロジェクト番号・名称:P00000 〇〇技術開発</p> <p>●実施期間:〇〇年度～〇〇年度</p> <p>●プロジェクトで生み出した技術的成果と実用化の状況: (例)・当該事業で開発した〇〇〇技術を、△△△製品の×××として活用している。</p> <p>・当該事業で開発した〇〇〇技術を利用して△△△の製造をしている。</p> <p>・当該事業で取得した〇〇に関する特許を他社にライセンス供与している。</p> <p>●成果が活用されている製品名:</p> <p>●直近の売上額:</p> <p>●その他(社会的便益、CO₂削減効果、雇用創出など):</p> <p>●記入者連絡先</p> <p><input type="checkbox"/> 提案者と同じ。</p> <p><input type="checkbox"/> それ以外。</p> <p>所属・氏名: 住所:</p> <p>電話: e-Mail:</p>

実施体制に入る **すべての法人(委託先、共同研究先を含む) 毎**に、本票を複製して記入してください。

過去15年以内に実施したNEDOプロジェクトの成果について記載してください。

「様式9-1」 利害関係確認情報

「様式9-1」※書式変更不可

(※様式9-1は、外部専門家に公開しません。)

一 利害関係確認情報

- ▶ NEDOでは採択審査にあたり、大学等の外部専門家による審査を取り入れています。外部専門家には、知り得た情報は審査以外の目的に利用することを禁じています。
- ▶ また、NEDOは、提案者と外部専門家との間に利害関係がないように細心の注意を払い、なお万全を期すため、外部専門家本人にも事前に確認を求め、利害関係者による審査を排除しています。
- ▶ 上記を補完するため、提案者の皆さまにも利害関係に関する情報の提供をお願いいたします。

< 提案者が想定する利害関係者 >

利害関係者に該当する者の所属、氏名を記載してください。

(例)
なし

< ありの場合 >

○○大学 △△学部 □□学科 ○○ ○○氏
(大学の場合は、学内の所属先も必ず記入してください)

- * 実施体制に入るすべての法人(委託先、共同研究先を含む)が対象です。
- * 各法人分をまとめ、1ページに記載してください。

提案者が想定する利害関係対象者を記載してください。
実施体制に入るすべての法人（委託先、共同研究先を含む）が対象です。

各法人分をまとめ、1ページに記載してください。

「利害関係者」とは、下記3項目のいずれかに該当する方を言います。心あたりの方があれば記載してください。**ない場合は「なし」と記載してください。**

- ① 提案書に氏名が記載された技術開発責任者、主任研究者、主要研究員の四親等以内の血族、三親等以内の姻族、同居の親族のうち、今回提案技術に関連すると思われる学識経験者
- ② 提案する課題と直接的な兼ね関係にあると思われる学識経験者
- ③ 提案テーマの実施体制に入っていないが、実質的な協力関係にある学識経験者

* 学識経験者：学問上の高い知識を持ち、大学・公的な研究開発機関に所属する者

ない場合は「なし」と記載してください。

「様式9-2」 利害関係確認情報

「様式9-2」※書式変更不可

一 利害関係確認情報

様式9-2は、書面審査委員、採択審査委員に送付し、委員が利害関係を確認する情報として使用します。よって、<テーマ概要>には、競合関係を特定することが可能と考える技術的なポイントを、問題ない範囲で出来るだけ詳細に記載してください。審査委員から、利害関係の有無の判断がつかないとのコメントがあった場合には、追加情報の提供をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いいたします。

<提案者及び研究者>

A株式会社

(技術開発責任者 △部 ××課 ○○ ○○氏、主任研究者 △部 ××課 ○○ ○○氏、○○ ○○氏、主要研究員 △部 ××課 ○○ ○○氏)

B大学

(技術開発責任者 ○○学部 □□学科 ○○ ○○氏、主任研究者 ○○学部 □□学科○○ ○○氏、主要研究員 ○○学部 □□学科 ○○ ○○氏)

* 実施体制に入るすべての法人(委託先、共同研究先を含む)について、この欄内にまとめて記入してください。大学の場合は、学部、学科名まで記載してください。

<技術開発テーマ名>

○○の研究開発

<テーマ概要>

競合関係を特定することが可能な内容を問題ない範囲で出来るだけ詳細に記載してください。

審査委員が利害関係を確認する情報として使用します。

実施体制に入る**すべての法人(委託先、共同研究先を含む)**について、この欄内にまとめて記入してください。

テーマ概要には、競合関係を特定することが可能と考える技術的なポイントを、問題ない範囲で出来るだけ詳細に記述してください。

「様式10」 事業成果の広報活動に対する同意

NEDO 使用欄
2020年度(第1回公募)版・テ...

「様式10」※書式変更不可。

事業成果の広報活動に対する同意

提案者名称 ○会社、△大学 実施体制に含まれるすべての法人名を記入してください。

助成事業の名称 ○○の研究開発

本事業では、交付規程第9条第1項二十一号及び第23条第2項に定める報道機関その他への成果の公開・発表等については、公募要領に従い、以下のとおりとします。

- ① 本事業の成果、実用化・製品化に係る発表又は公開(取材対応、ニュースリリース、製品発表等)を実施する際は事前にNEDOに報告を行うものとする。特に記者会見・ニュースリリースについては事前準備等を鑑み原則公開の3週間前に報告を行うものとする。
- ② 報告の方法は、文書によるもの他、電子媒体(電子メール等)による通知を認める。その際、NEDOからの受領の連絡をもって履行されたものとする。
- ③ 公開内容についてNEDOと事業者は内容を調整・合意のもと、協力して効果的な情報発信に努めるものとする。
- ④ 前項目に基づき発表又は公開する場合において、特段の理由がある場合を除き、記載例を参考にその内容が「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」の成果として得られたものであることを明示する。なお、その場合には、NEDO の了解を得て NEDO のシンボルマークを使用することができる。

【成果の発表又は公開する場合の記載例】
「この成果は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」において得られたものです。」

【事業化・製品化等について発表又は公開する場合の記載例】
「これは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」において得られた成果を(一部)活用しています。」

本事業の実施者には、NEDOと協力して効果的に情報発信することを了解していただきます。

対外発表を計画する場合は、**十分な時間的余裕をもってNEDOに報告**することご留意ください。
※原則公開の1か月前

提出書類チェックリスト

2020年度(第1回公募)版・テ...

提出書類チェックリスト※提出する前に、下記事項を確認してください。本様式は提出不要です。+

様式名等	項目名	確認事項	し
e-Rad	研究共通情報	技術開発課題名が様式1、2、3、4と一致しているか？	○
	研究経費情報	使用内訳の年度展開が様式4と一致しているか？	○
	研究組織情報	主任研究者の情報が連名提案先・委託先・共同研究先も含め正しいか？	○
		直接経費と間接経費の合計額は様式4の4-1.技術開発予算と研究員の年度展開と一致しているか？	○
		共同研究先の大学以外が間接経費を計上していないか？	○
応募・受入状況	他の公的資金を受けている場合、その内容が入力されているか？	○	
様式1～、 様式10共通	全般	技術開発フェーズ名と技術開発テーマ名が各様式間で一致しているか？	○
		書きの注意書きが残ったままになっていないか？	○
		片面、白黒印刷になっているか？	○
様式1	押印	代表者の役職印が押印されているか？(社印のみは不可。代表者のサインは可。)	○
様式1	e-Radコード	e-Radの所属研究機関コードが記載されているか？	○
様式2	全般	1ページ以内に収まっているか？また、文字が切れていないか？	○
様式3-1	技術開発責任者	提案者の主任研究者の中から選任されているか？	○
	技術開発費	年度毎の金額が、様式4の4-1.技術開発予算と研究員の年度展開と一致しているか？	○
	主任研究者	様式4の3-5.主任研究者と一致しているか？	○
	委託/共同研究先	様式4の3-2.委託、3-3.共同研究と一致しているか？	○
	重要技術	正しく選択されているか？該当しない場合は「該当無し」と記載されているか？	○
様式3-2	省エネルギー効果量	様式4の1-7.省エネルギー効果量(国内の20××年度【参考値】、2030年度の値)と一致しているか？	○
	重要技術	正しく選択されているか？該当しない場合は「該当無し」と記載されているか？	○
	省エネルギー効果量	様式4の1-7.省エネルギー効果量(国内の20××年度【参考値】、2030年度の値)と一致しているか？	○
	全般	20ページ以内に収まっているか？	○
	1-8.省エネルギー効果量	20××年度の××が、販売開始から3年後に書き換えられているか？	○
様式4	3-1.実施体制図	計算結果と表中の値が一致しているか？	○
		提案者/委託先/共同研究先が明記されているか？左記以外の法人の記載が無いのか？	○
		連名提案で委託先/共同研究先がある場合、所管の提案者が判るようにしているか？	○
		法人毎に担当技術開発内容と開発費用が書かれているか？	○
		開発内容と開発費用は4-1.技術開発予算と研究員の年度展開と一致しているか？	○
		委託先/共同研究先の開発費用が、提案者の開発費用の内訳になっているか？	○
		委託先と共同研究先の開発費用合計が、提案者の開発費用の50%未満になっているか？	○
	3-5.主任研究者	技術開発責任者も書かれているか？	○
		委託先や共同研究先の主任研究者も書かれているか？	○
		様式5.の記載事項と一致しているか？	○
3-6.主要研究員	様式6.の記載事項と一致しているか？	○	
4-1.技術開発予算と研究員の年度展開	経/債の合計額が一致しているか？	○	
	委託先や共同研究先の予算と研究員も書かれているか？	○	
	当初交付決定期間(2021年度)を表す本線が引かれているか？	○	
4-2.当初交付期間の技術開発費積算内容	4-1.技術開発予算と研究員の年度展開の開発予算と一致するか？	○	
	単位が円になっているか？	○	
5-4.提案書提出に際しての合意	合意者は、提案者の代表者となっているか？	○	
	連名提案の場合、全員の氏名が書かれているか？	○	
様式5	研究者番号	e-Radの研究者番号が書かれているか？	○
様式6	全般	国立研究開発法人、大学等の場合、全員分が揃っているか？	○
様式7	会社経歴書等	添付しない場合、左記情報が掲載されたホームページのアドレスが書かれているか？	○
様式8	NEDO技術開発プロジェクトの実績調査票	実施体制に入るすべての法人ごとに複製して記入されているか？	○
様式9-1、 様式9-2	利害関係確認情報	実施体制に入るすべての法人分をまとめて記入されているか？	○
様式10	事業成果の広報活動に対する同意	実施体制に入るすべての法人名(委託先、共同研究先含む)が記入されているか？	○

- 提出書類チェックリストは、NEDOへ提出する必要はありません。
- 書類を提出する前に必ずこのチェックリストを使用し、間違いがないか確認してください。

テーマ設定型事業者連携スキームの説明は以上です。作成時は、注意事項等、再度確認してください。